

「社員を大切にしたい」 彌生ディーゼル工業様の想いを miniつく動画で実現へ！

課題

- ・作業方法が個人に依存し、品質のばらつきがあった
- ・業務の標準化を図りたい
- ・現場での不具合を撲滅し、安心・安全な作業を確立したい

期待したい 効果

- ・新人や外国人社員にとって、動画形式はより視覚的かつ正確に作業内容を伝えられる
- ・動画を通じて作業を定型化できるため、業務標準化・スピードアップ、効率化が実現できる
- ・技術を継承するための従業員向け教材として活用できる



代表取締役社長 細田様

外国人材登用にあって現場作業の 標準化が課題だった

ー「miniつく動画」導入に至った経緯を教えてください。

高畑様：当社は、トラック、トレーラーといった大型車から軽自動車まで、多種の車両の車検、板金・塗装、整備・故障修理を行っています。

現場での不具合を撲滅し、安心・安全な作業体系を確立することが第一ですが、作業標準化に課題を抱えていました。例えば、当社では外国人材を積極的に活用していますが、出身国やバックボーンなどによって作業のやり方が異なり、個人のやり方に依存している部分があります。また、現場でのOJTに際し、新人からの質問に対して先輩社員ごとに回答が異なるなど技術の継承面で問題がありました。

そんな折、長年の付き合いのある東京海上ディーアールの担当者から、miniつく動画を紹介いただきました。miniつく動画は、視覚的に作業を説明することで新人や外国人社員にとってわかりやすく、作業内容の詳細を定型化できることから、当社の課題であった、会社全体の生産性向上や従業員の技術力向上の解決策となると考え、導入を決めました。

細田様：動画を繰り返し視聴可能であることも魅力でした。社員が作業に関して不明点があった場合に、教育担当に何度も聞かなくても動画を複数回視聴することで理解が促進されると考えました。miniつく動画を通じて作業内容をスムーズに理解することで、作業効率や正確性が向上し、従業員一人ひとりの技術力の向上につながることを期待していました。



管理部 部長 高畑様

現場の意見を取り入れながら動画を作成

ー「miniつく動画」導入の流れを教えてください。

高畑様：現場事故を撲滅し品質向上を推進する社内プロジェクトのメンバーに相談しながら導入を進めました。miniつく動画はプロジェクトメンバーに非常に好感触でした。常に仕損じ(作業工程におけるミス)や事故の撲滅を目指して安心・安全を追求する当社に、miniつく動画がまさにニーズにはまったという感覚でした。プロジェクトメンバーの協力もあり、スムーズに導入できました。

現在は、画像や動画などの素材の収集と、サンプル動画の作成を進めています。まず取り掛かったのが、当社の主要な業務の1つであり、作業量が多く業績に大きな影響を与える車検業務のサンプル動画です。車検は点検の流れが決まっており、手順に従って動画を作成しやすいです。出来上がったサンプル動画を社内で適宜確認してもらいフィードバックを受けて改善しています。より良い動画となるよう、管理部門と現場が協力して作成を進めています。



一実際に使ってみての感想やエピソードを教えてください。

高畑様:miniつく動画は色付きでテロップが挿入できるので、特に注意してほしい作業のポイントを言語化して表現でき、とても便利です。映像に「やさしい日本語」や多言語での補足を加えることで、外国人社員が理解できる動画を作成できる点も魅力です。

時には、慣れない動画撮影に苦労することもあります。そのような状況で、東京海上ディーアールから大変有益な提案を多くいただきました。特に印象に残っているのは、撮影方法の提案です。画像や動画などの素材収集に苦労していた時、東京海上ディーアールに相談したところ、「アクションカメラを身体に装着して撮影すると作業内容が伝わりやすいのではないか」「360度撮影できるカメラを使用したらどうか」など多くの提案をいただきました。

このように、実際に撮影することで新たな課題が出てくることもありますが、試行錯誤しながらminiつく動画の素材収集・サンプル動画作成を進めています。

東京海上ディーアールは、miniつく動画に関する細かな困り事にも対応していただき大変助かっています。こまめな訪問やメールで相談に乗ってくれて、常にレスポンスが速く、感謝しています。

創立80周年に向けて、技術継承と品質向上を

一今後の展望を教えてください。

高畑様:miniつく動画を活用した社員教育を本格スタートするのは2024年8月頃を予定しています(2024年5月末時点)。サンプル動画をさらに増やした段階で、社内でプレゼンテーションする計画です。社員からの動画を視聴しての率直な感想を共有してもらうことで、より現場の目線に立った動画を作成していきたいです。動画は現場の教育担当が教材として活用するだけでなく、現場作業の振り返りとして社員が自主的に活用できる「参考書」のようなイメージを描いています。miniつく動画の活用を通じて、社員全員の作業を標準化し、業務効率化を図り、「仕損じゼロ」を継続的に実現していきたいと考えております。今後も東京海上ディーアールには編集方法や多言語対応など継続的な提案を期待しています。

細田様:2026年に弊社は創立80周年を迎えます。その節目の年に、教育や作業標準化の面で気持ちを新たにスタートを切りたいと考えています。miniつく動画を通じて社員1人1人の能力がアップすれば、生産性が向上します。そうすれば、売上が増え業績アップに繋がります。miniつく動画を活用し、社員のメカニックの能力・技術を高めていきたいです。

昨今、日本人の現場作業者の採用が難しくなっており、当社含め自動車整備を専門に行う企業やディーラーなど自動車業界で多くの外国人材が活躍しています。そのため、当社と同様に外国人材への教育や指導、現場の品質向上といった点で悩まれている企業も多いのではないのでしょうか。そのような企業には、miniつく動画を自社の教育プログラムに上手く組み合わせて活用できそうです。

自動車整備業は、現場が仕事をすることで売上げが上がり利益が生まれます。社員を大切にすることこそが、会社にとってプラスになると考えています。昔は、自動車整備業はいわゆる「3K」の仕事だと言われていました。当社はそのイメージを払拭したいという想いから、福利厚生や健康経営等、明るい職場づくりに努めてきました。今後もminiつく動画を活用し、教育の充実や作業標準化を図ることで、社員が働きやすい職場づくりを続けていきます。



東京海上ディーアール担当者より

彌生ディーゼル工業様は人を大事にする会社であり、熱い想いをお持ちです。そのようなお客様にminiつく動画を採用いただき大変光栄です。今後もお客様と一緒に、より良い動画を作成できるよう歩み続け、社員を大切にできる職場づくりにお役に立てれば幸いです。

<導入企業様のご紹介> ※2023年5月現在

会 社 名：彌生ディーゼル工業株式会社

U R L：<https://www.yayoidizel.co.jp/>

業 種：自動車整備

事 業 内 容：各種自動車整備・販売

自動車全種目の民間車検業務

保険代理店業務

従 業 員 数：40名

お話を伺った方：

代表取締役社長 細田 健 様

管理部 部長 高畑 清一 様